

事業所名

児童デイサービスそら

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

6 日

法人（事業所）理念		誰もがありのままにその人らしく地域で暮らす					
支援方針		将来を見据え、生きる力や生活力を育むための支援活動を行います。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時には、手洗いやうがい、健康観察（検温等）を促します。高学年になると、自ら検温し体温を報告するなど、健康管理を行えるようサポートします。調理活動（昼食作りやおやつ作り）を通じて、エプロンや三角巾の着用、手洗い、食品の取り扱いなど衛生管理が学べるプログラムを提供しています。また、低学年から自分の使ったうがいコップや食器の拭き取り、片付けを行っています。中高生になると、帰りの片付けとして食器洗いや片付け、洗濯物の干しやたたみなどを行う時間を設けています。これらは毎日数分の活動ですが、将来の自立に向けた大きな成果をもたらします。					
	運動・感覚	工作が好きなお子様には、廃材を集めて自由に使えるコーナーを設け、音楽に興味があるお子様にはピアノやハンドベルなどの楽器に触れる機会を増やし、それぞれの感性を伸ばせるようサポートします。夏休みには、スライム作りや水遊びなど、柔らかさや冷たさなどさまざまな感覚を感じられる遊びを取り入れます。また、ハサミを使ったチャレンジ活動を取り入れて、指先の発達を促す支援も行います。さらに、駄菓子屋「そら」を開設し、お子様が自らおやつを選び、決まった金額で購入することで、金銭感覚を養う環境を整えています。					
	認知・行動	始まりの会では、当日のスケジュールを確認します。帰りの会では、各お子様の次回の来所日とプログラムの確認、帰りの送迎車の順番や同乗する職員、お友達を伝えます。これにより、次の行動がスムーズに行えるようサポートします。また、おやつ買いや土曜プログラム（外出）を通じて、社会のルールを学ぶ機会を設け、将来を見据えた行動力を育てる活動を行っています。					
	言語 コミュニケーション	寺子屋「そら」では、適切な距離感や困ったときの対応など、コミュニケーションについて学ぶ機会を提供しています。また、日々のプログラムを通して、お子様達が相談や報告をしやすい環境をサポートします。低学年の活動として、読み聞かせの時間を設け、文字や言葉に触れる機会を作っています。職員やお友達など、異なる年齢層と共に過ごすことで、各年齢に応じた適切なコミュニケーションを学べるよう支援します。					
	人間関係 社会性	調理活動では、ホットプレートでホットケーキを焼く順番を待つことや、お買い物でレジに並ぶこと、チャレンジでは工作などを通じてお友達と仲良く参加するなど、日々のプログラムを通して社会性を学べる環境を整えています。様々な活動と一緒に行うことで、仲間との楽しい時間や時々起こる意見の食い違いを経験しながら、職員がサポートを行い、人間関係を学んでいきます。					
家族支援		送迎時には日頃の様子を伝えることができ、困ったことが起こった場合には相談できる体制を整えています。			移行支援		思春期、進学、就労など、それぞれのライフステージに応じた支援を行います。
地域支援・地域連携		お買い物や外出など、地域に出る機会を設けています。また、困ったことが起きたときは、相談支援所や学校と連携を取り、対応を検討しています。			職員の質の向上		法人研修や事業所内研修などを通じて、学ぶ機会を提供しています。また、外部の研修にも積極的に参加できるよう体制を整えています。
主な行事等		季節の行事（プール、ハロウィン、クリスマスなど）、外出（遊覧船、カラオケ、航空博物館など）、外食（レストラン、福祉施設の見学を兼ねての食事会など）、美術活動（平日：月2日から3日 土曜日：月2日）					